

本別町議会

議員定数及び報酬に関する

調査特別委員会

取組状況報告書

(令和7年4月16日 現在)

1)委員会の設置

令和6年12月12日開催の定例会において、議員定数及び報酬について調査研究を行う「本別町議会議員定数及び報酬に関する調査特別委員会」を設置し、これまで、各委員の定数・報酬に関する考え方の確認や町民アンケートの実施などを行ってきました。

委員会構成(議長を除く11人で構成、現在欠員1人)

委員長	高橋 利勝	委員	阿保 静夫	藤田 直美	水谷 令子	加藤 徹己
副委員長	石山 憲司		方川 一郎	梅村 智秀	丑若 浩行	宮本やよい

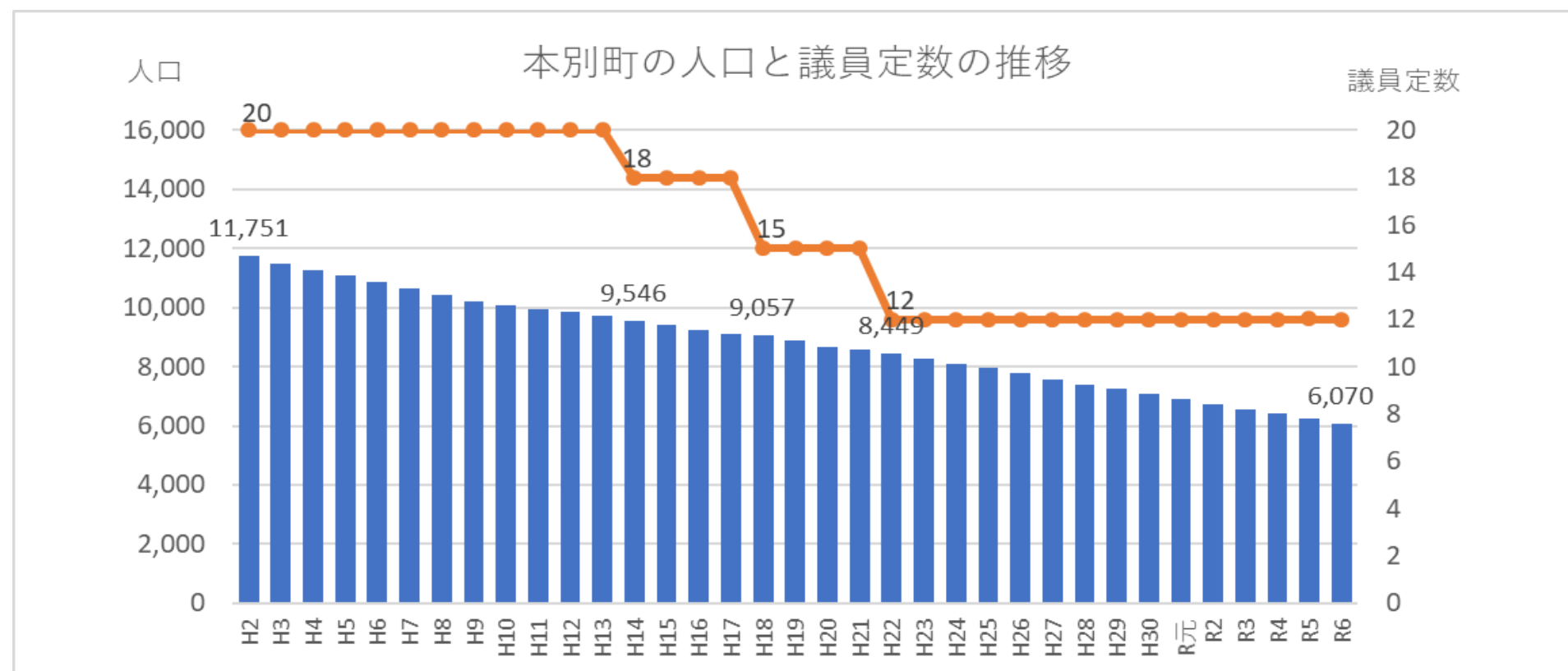
2)令和6年12月以降の委員会活動 (令和7年4月16日 現在)

回数	開催日	主な協議事項
第1回	令和6年12月17日	・今後の進め方、取り組みスケジュールについて ・町民アンケートについて
第2回	令和7年 1月10日	・定数・報酬に関する考え方の確認について ・町民アンケートについて
第3回	令和7年 1月16日	・町民アンケートについて
第4回	令和7年 1月23日	・町民アンケートについて
第5回	令和7年 1月31日	・町民アンケートについて ・今後の進め方について ・アンケートの発送作業
第6回	令和7年 2月21日	・町民アンケートの回答状況について ・今後の進め方について
第7回	令和7年 3月28日	・町民アンケート回答結果について ・町民アンケート回答結果を踏まえた、定数・報酬に関する考え方の再確認について ・議会報告書における「定数・報酬特別委員会」の活動報告について
第8回	令和7年 4月10日	・町民アンケート回答結果(確定版)について ・「定数・報酬調査特別委員会」の活動報告の内容について
第9回	令和7年 4月16日	・「定数・報酬調査特別委員会」の取組状況報告書について

3)議員 定 数

①議員定数の推移

本町議会の議員定数は、平成14年に議員の定数を定める条例を制定し18人と定め、その後平成18年の一般選挙からは15人とし、さらに平成20年に設置した本別町議会の活性化等調査特別委員会では、広く町民の声を聞き、人口減少などを考慮して、平成22年の一般選挙からは12人となっています。



②議会に必要な議員数の考え方

- (1)議会の監視機能の重要性…地方分権改革により首長の方針が施策に反映しやすくなり、議会の監視機能も重要性を増してきている。
- (2)多様性・専門性の確保…多様で専門的な視点からの政策の適否を判断したり、政策提言に結びつけたりする議論が必要である。
- (3)委員会の審査能力発揮…本別町議会には3つの常任委員会と2つの特別委員会があり、各委員会での審議能力を発揮するためには、一定程度の人数が必要である。

③十勝管内の議員定数の状況

町村名	人口 R7年 1月末現在	議員定数 (人)	町村名	人口 R7年 1月末現在	議員定数 (人)	町村名	人口 R7年 1月末現在	議員定数 (人)
陸 別 町	2,116	8	鹿 追 町	4,918	11	足 寄 町	5,927	13
豊 頃 町	2,855	9	大 樹 町	5,254	12	本 別 町	6,034	12
更 別 村	3,076	8	新 得 町	5,492	12	清 水 町	8,734	13
中 札 内 村	3,833	8	土 幌 町	5,685	12	芽 室 町	17,757	16
浦 幌 町	4,095	11	広 尾 町	5,878	13	幕 別 町	25,230	19
上 土 幌 町	4,749	11	池 田 町	5,895	12	音 更 町	42,632	20
						平 均	8,898	12.2

④議員定数に対する考え方

※議長及び委員長は含まれません

委員名	当 初 (R7.1.10特別委員会での発言内容を抜粋)		今 回 ～町民アンケート結果を踏まえ (R7.3.28特別委員会での発言内容を抜粋)	
	考え方	理 由	考え方	理 由
阿保 静夫	現状維持	法定定数で人口1万人未満は22人となっていたが、以前本町議会は皆さんで議論して12人と定めており、そのとおりでよいと思っている。	現状維持	同左
方川 一郎	現状維持	周りの町民からは増やせとか減らせという議論はあまりなく、今の状況でいいのでは。	現状維持	アンケート結果を参考とさせていただいたが、安易に削減すべきでなく、現状維持を。
藤田 直美	現状維持 または1人減	むやみに減らすものではないが、現状1人欠員の状況でも運営に特段支障はないと感じている。	1人減	減の意見が多いが、多様な意見や少数の意見を聞くため、一定程度の人数は必要。1人減の11人で検討しては。
石山 憲司	現状維持	住民の多様化において、安易に定数を減らすことは賛成しづらい。	現状維持	同左
梅村 智秀	3人減	1人欠員での議会運営に特段差し障りはなく、業務の多い広報広聴常任委員会の定数はそのままにすれば、さらに1人2人減らしても差し障りはないのでは。	3人減	やるべきことをやっていない議員が多すぎ、町議会への信頼はない。もっと減らして良いが現実的に3人減。
水谷 令子	現状維持 または1人減	1人欠員でも運営を支障なく行っていると思うが、住民の多様な意見を反映して議論し、議会の意思を決定するという意味では現状の12人でもよいのでは。	1人減	現在11人で多様な意見は各自、活発に出せている。
丑若 浩行	2人減	現状1人欠員で運営されており、今後の人口減少を考えて、10人程度が妥当では。	2人減	アンケート結果では10人が多かった。
加藤 徹己	現状維持	民意を議会に反映するという意味では、12人が妥当と考える。	現状維持	定数は現状の12人。町民に理解されていない部分があり、議会活動に反省もある。
宮本やよい	削減	人口減少に合わせて定数も減らしていくべき。	削減	アンケートの結果を見ても減という意見が多く、現状維持と回答した人も人口減少した場合は減らすという意見が多かった。

4)議員 報酬

①議員報酬とは

地方公共団体は、その議会の議員に対し、議員報酬を支給しなければならないと定められ、その額及び支給方法は、条例で定めることとされています。

議員の「報酬」は、議会の議員が行う勤務に対する役務の対価であり、給与(生活給)ではありません。

全国町村議長会においては、議員報酬だけでは生計を維持できない低水準であることから、若者や女性など多様な方々が議会に参画できるよう、議員報酬に生活給的要素を加味するよう、国に改善を求めています。なお、本町議会では、現状議員のなり手不足を課題としてはいません。

また、財源として令和6年度地方交付税の算定においては、議員一人当たりの報酬単価として月額30万円程度が算入されています。

②議員報酬の推移

議員報酬は平成8年1月の見直し以降、平成16年4月に町特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬を削減しました。さらに平成17年4月にも削減し、現在に至ります。

	平成8年～	平成16年～	平成17年～
議 員	198,000 円	193,000 円	185,000 円

③十勝管内の議員報酬の状況（令和6年7月現在）

町村名	議 員 報 酬（議員一人当たりの報酬）					
	月額報酬	順位	期末手当 6・12月	期末手当加算 支給率	年間報酬額	順位
陸 別 町	175,000 円	16	4.50 力月	- %	2,887,500 円	16
豊 頃 町	185,000 円	10	4.50 力月	15 %	3,080,250 円	10
更 別 村	162,000 円	18	4.50 力月	- %	2,673,000 円	18
中 札 内 村	169,000 円	17	4.50 力月	15 %	2,813,850 円	17
浦 幌 町	212,000 円	2	4.50 力月	- %	3,498,000 円	2
上 士 幌 町	192,000 円	7	4.50 力月	15 %	3,196,800 円	7
鹿 追 町	205,000 円	4	4.50 力月	- %	3,382,500 円	4
大 樹 町	185,000 円	10	4.50 力月	15 %	3,080,250 円	10
新 得 町	188,000 円	8	4.50 力月	15 %	3,130,200 円	8
士 幌 町	195,000 円	6	4.50 力月	- %	3,217,500 円	6
広 尾 町	185,000 円	10	4.40 力月	- %	3,034,000 円	13
池 田 町	185,000 円	10	4.50 力月	- %	3,052,500 円	12
足 寄 町	188,000 円	8	4.50 力月	- %	3,102,000 円	9
本 別 町	185,000 円	10	4.20 力月	- %	2,997,000 円	15
清 水 町	183,000 円	15	4.50 力月	- %	3,019,500 円	14
芽 室 町	204,000 円	5	4.10 力月	- %	3,284,400 円	5
幕 別 町	212,000 円	2	4.50 力月	- %	3,498,000 円	2
音 更 町	281,000 円	1	4.50 力月	- %	4,636,500 円	1
平 均	193,944 円		18町村 4.46 力月	5町 15 %	3,199,097 円	

④議会年間会議回数（令和6年1月～12月）

- ・会議は、会議名にある12種の公式会議（委員会は所属している委員会）に出席した回数を掲載しています。
- ・同一日に複数の会議があった場合は1日でカウントしています。
- ・このほか、議員派遣による研修会、議長は各種団体の会議等にも出席しています。（年間5日～44日）
- ・また、町主催の行事への参加や任意団体による活動などもしています。

＜令和6年開催会議＞

会議名 (年間会議回数)	定例会 (15回)	臨時会 (3回)	議員 協議 会 (16回)	町 懇談 会 (2回)	議 運 委 員 会 (21回)	総 務 常 任 委 員 会 (7回)	産業厚生 常任 委員 会 (10回)	広報広聴 常任 委員 会 (18回)	予算審査 特別 委員 会 (3回)	決算審査 特別 委員 会 (3回)	定数報酬 特別 委員 会 (1回)	懲罰 特別 委員 会 (1回)	計 (100回)				
議員名	各議員の出席を要する会議（★＝議長は全ての委員会に出席する権限があります。）													出席 回数	出席率	実日数	
	本会議		議員 協議 会	町 懇談 会	所属委員会								開催 回数				
	定例会	臨時会			議 運 委 員 会	常任委員会				特別委員会							
						総 務 常 任 委 員 会	産業厚生 常任 委員 会	広報広聴 常任 委員 会	予算審査 特別 委員 会	決算審査 特別 委員 会	定数報酬 特別 委員 会	懲罰 特別 委員 会					
篠原 義彦 議長	○	○	○	○	★	★	★	△	★	★	★	△	77	75	97%	55	
高橋 利勝 副議長	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	67	67	100%	49	
阿保 静夫 議員	○	○	○	○	○	▼	△	△	○	○	○	△	86	86	100%	64	
方川 一郎 議員	○	○	○	○	△	△	▼	△	○	○監査委員	○	○	51	51	100%	38	
藤田 直美 議員	○	○	○	○	○	▼	△	▼	○	○	○	△	80	80	100%	59	
石山 憲司 議員	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	75	75	100%	55	
梅村 智秀 議員	○	○	○	○	△	△	○	△	○	○	○	△	65	65	100%	49	
水谷 令子 議員	○	○	○	○	○	△	▼	□	○	○	○	○	87	87	100%	63	
丑若 浩行 議員	○	○	○	○	▼	▼	△	○	○	○	○	△	80	79	99%	59	
加藤 徹己 議員	○	○	○	○	△	△	▼	○	○	○	○	○	69	69	100%	52	
宮本 やよい 議員	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	69	69	100%	52	

※令和6年は年途中で、常任委員会・議会運営委員会の委員構成が変更となっております。

□＝令和 6年 3月14日から

△＝令和 6年 8月 9日まで

▼＝令和 6年 8月10日から

⑤議員報酬に対する考え方

※議長及び委員長は含まれません

委員名	当 初 (R7.1.10特別委員会での発言内容を抜粋)		今 回 ～町民アンケート結果を踏まえ (R7.3.28特別委員会での発言内容を抜粋)	
	考え方	理 由	考え方	理 由
阿保 静夫	現状維持	現状維持だが、改選前には議論し結論を出すべき。	現状維持	アンケート結果を見たが現状維持と判断。
方川 一郎	どちらでもない	議員だけでなく報酬等審議会も含めて検討していく方法が考えられる。	現状維持	管内平均でもそんなに高いほうではないが。
藤田 直美	どちらでもない	町民アンケートの結果を受け、報酬等審議会などで議題として挙げてもらうのも方法の1つと考える。	定数減分の増	20歳代は増の考えが多く、若い方、意識の高い方が議員として立起しやすくするため、定数1減分の増額を。
石山 憲司	増額	平成17年から報酬額は変わっておらず、貨幣価値が下がっているため見直しが必要。	現状維持	将来的には増額を目指すべき。
梅村 智秀	減額	定数を減らしてその範囲内で報酬を増とする考え方は、熟慮を重ねたうえで賛同できる可能性はある。また月額ではなく、日当制にすればやったことに対して支給されるので分かりやすくなるのでは。	減額	議員は任期4年。増額となるとしがみつ、居座る議員が生まれる。県・市議会など高額な報酬でも議員の質は低い。日当制の導入も検討必要。
水谷 令子	現状維持	現状の議員活動の内容を考えると、基本的には今の報酬額が妥当である。	現状維持	今の財政状況を考えて時に、現状の議員活動内容も考えて、報酬は現状維持で妥当。
丑若 浩行	現状維持	現状維持だが、定数減を前提として、議員の仕事量が増えることを考えると、町財政に負担がない程度の微増はやむを得ない。	現状維持	現状維持だが、議員定数削減を前提とした増を。
加藤 徹己	増額	増額の考えだが、町財政の問題もあり、議員から提案して上げるというのはなかなかできないのでは。	現状維持	増額を目指すべきだと考えるけど。
宮本やよい	現状維持	増額する必要はない。	減額	議会の評価も低いし、厳しい意見もあった。能力給や日当制も考えては。

5)町民アンケート結果

①調査の概要

時期	令和7年2月1日～令和7年3月16日
対象	町内にお住まいの方、900人を無作為抽出し、郵送にて送付し、郵送または調査表記載の QR コードからの WEB による回答
回収	郵送による回答228、WEB による回答95 計323回答(回収率35.9%)

②設問別回答結果

質問1 あなたの居住実態についてお尋ねします。

(1) 現在本別町に居住していますか。

はい	いいえ	無回答
313人	6人	4人

※質問1(1)で「いいえ」と答え、将来的に本別町に居住する予定や希望を持っていない人を除いた320人が質問2以降を回答。

質問2 あなたの性別を教えてください。

男性	女性	回答しない	無回答
160人	143人	10人	7人

質問3 あなたの年齢を教えてください。

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
6人	18人	33人	49人	43人	59人	63人	42人	7人

全てのアンケート
結果は議会ホーム
ページで公開中



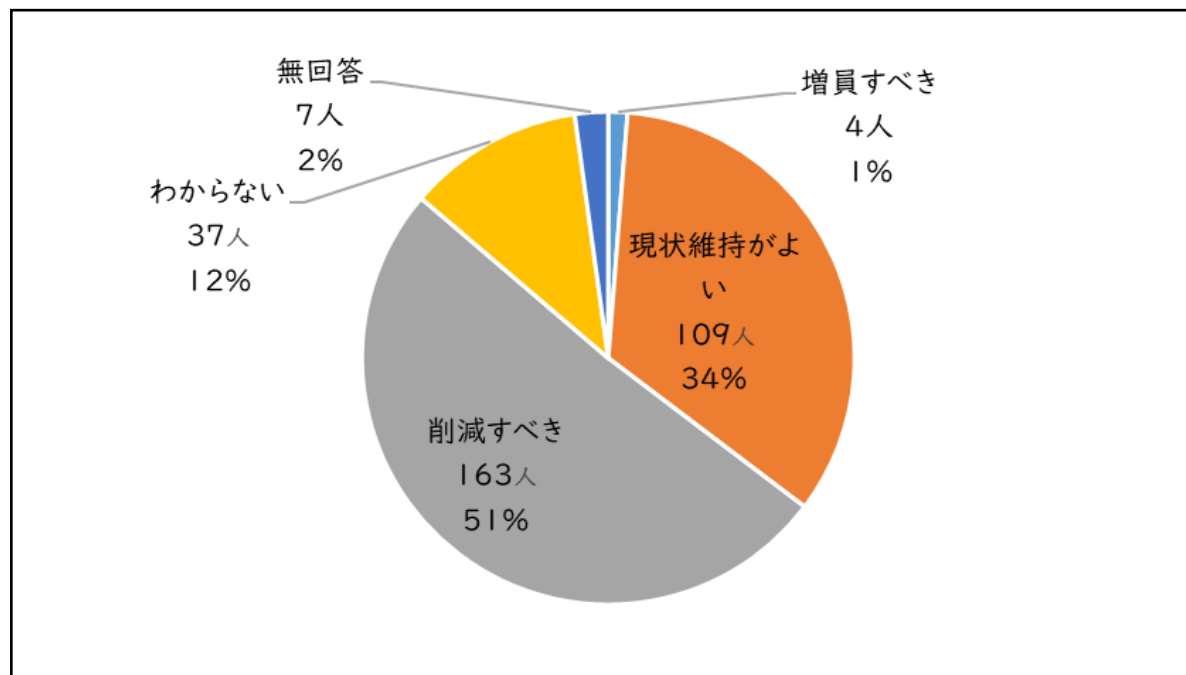
質問4 あなたの職業を教えてください。

高校生	大学・専門学校生	会社員	商工業	農林業	主婦(夫)	公務員	その他	無回答
5人	6人	56人	12人	49人	60人	18人	93人	21人

質問5 議員定数と議員報酬についてお尋ねします。

(1) 本別町の議員定数(現在12人)についてどう思いますか。

増員すべき	4人
現状維持がよい	109人
削減すべき	163人
わからない	37人
無回答	7人



(2) 回答の理由をお書きください。※主な意見を抜粋

【増員すべき】

人口減少に伴う山積する町政を素早くこなすため。

今、町が抱える問題は大きく、たくさんの知恵を出し合い、解決していく必要があると思うから。

【現状維持がよい】

議会に必要な議員数を考えた時、人口に対しての定数や議論、そして審議能力を存分に発揮してほしいので、今の人数で妥当と思う。

人口から考えると現状維持で良いと思います。削減すると多様な意見・考え方がなくなると思います。

少ないと、片寄った意見の議会になるから。

十勝管内の状況とかわりないので現状維持がよいのでは。しっかり役割をはたして欲しい。

定数を減少すると、民意が反映されづらくなる。

【削減すべき】

町議会が町政に有意義に機能しているかどうか分かりづらい。もっと情報公開すべき。判断材料が欲しい！

普通に子育てをして働いている身として、本別町がすこしずつでも発展している、良くなっていると感じることがないので、つまりは議員それぞれの役割がなされていないと思うから。

人口が減って来ているため。

減らして議員一人あたりの報酬を値上げした方が良い。

現状！人欠員でも運営に支障がないようなので

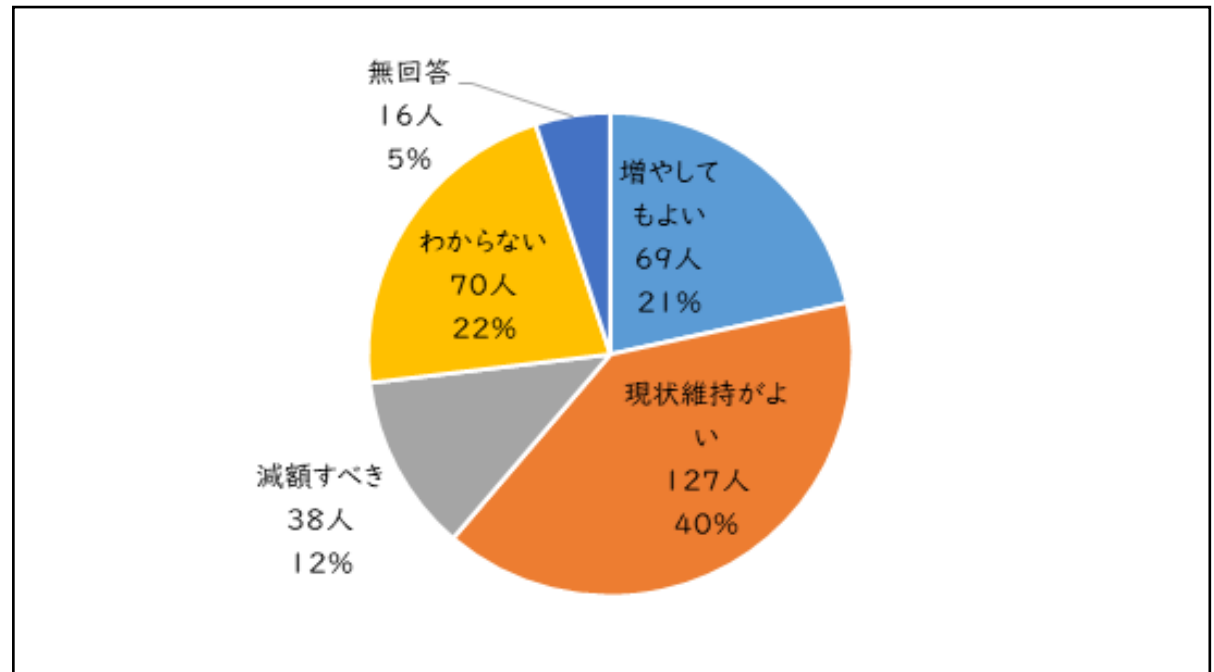
【わからない】

議員や議員報酬についての知識がないため、増員・減員等なにがいいのかわからない。

議員定数と内容があまりわからない。やはり議員内容もっとわかりやすくしてほしい。

(4) 本別町の議員報酬(月額18万5千円)についてどう思いますか。

増やしてもよい	69人
現状維持がよい	127人
減額すべき	38人
わからない	70人
無回答	16人



(5) 回答の理由をお書きください。※主な意見を抜粋

【増やしてもよい】

管内の平均以下なので増やしてもよい。
定数を減らしたうえ、その分を増額してはどうか。
きちんと議員としての職責をはたすのであれば上げてもいいと思います。
議員報酬が低いと次世代のなり手や若い人が議員を志さなくなり、議会が停滞してしまいかねないので、現在の情勢に合わせて報酬を増やしていくべきではないかと思ったため。
財政の問題があるのでわからないが、議員のなり手がいないのであれば増していくほうがいいかと思う。若い人の活躍に期待したい。

【現状維持がよい】

減額すると議員になる人がいなくなるため。
十勝管内でも特に高い方ではないので、現状維持で頑張してほしい。
十分とは言えないが町民の生活を考えると妥当と思う。
定数が減るのであれば、現状維持でよいです。
その報酬に見合う働きをしていただけるのなら何の問題もない。その報酬に見合う働きを町民にも分かるようにするべきと考える。

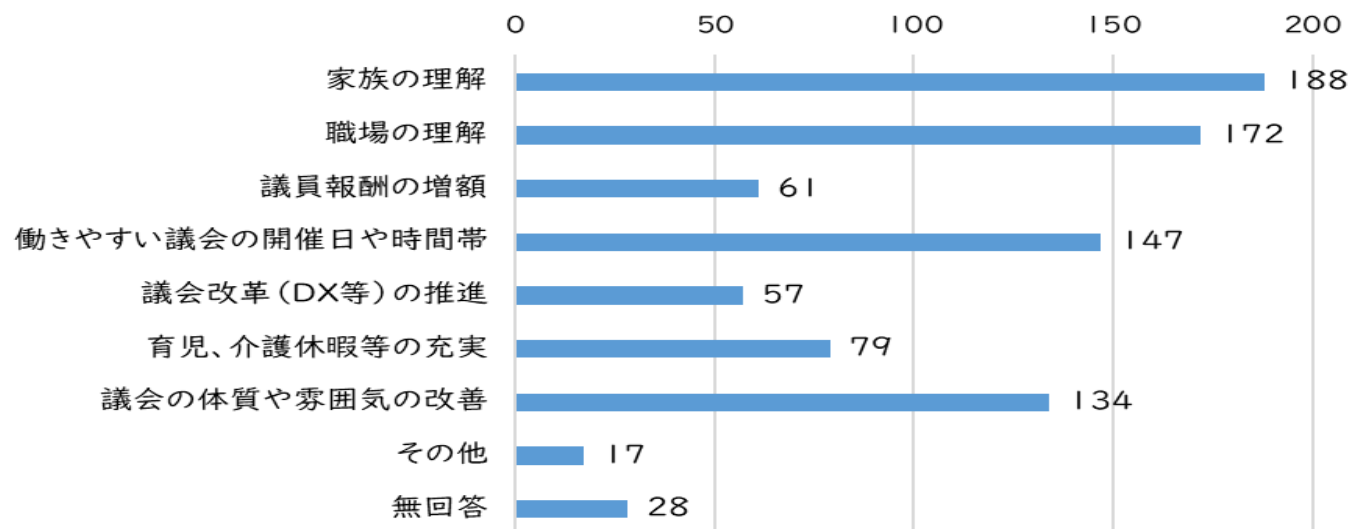
【減額すべき】

失礼ですが、町民のための活動をしているとは思えないです。
議員報酬は生活給とゆう考え方はおかしい。
今後も人口減少、高齢化もすすむので、減額したぶん他に当てて欲しい。
町のお金も限りがあるので。
日当制にするのを望む。

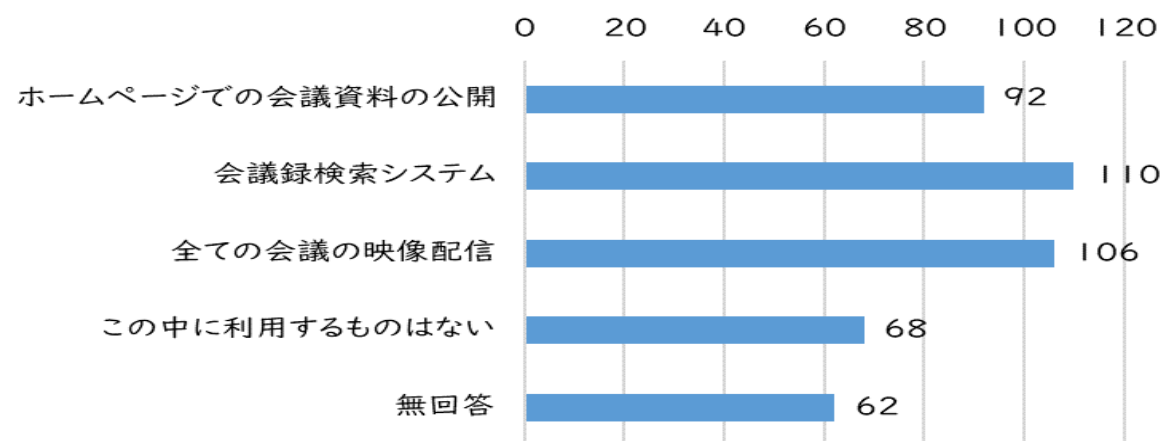
【わからない】

街の活性化を感じられないので、正直街のために何をどう活動して下さっているのか不明のため、報酬が妥当かわからない。日当制を検討しても良いのでは？
各議員の活動の内容、議会への出席数等々を公表する機会を設けてはどうかと思います。
議員としての具体的な実務内容がわからないため。
算定の基準がよくわからないので。

質問6 子育て世代など多様な世代や能力、やる気がある方が議員になるためには何が必要だと思いますか。(複数選択可)



質問7 今後本町議会で次のものを導入した場合、あなたが利用するものはありますか。(複数選択可)



本別町議会議員定数及び報酬に関する調査特別委員会 取組状況報告

令和7年4月発行

発行 本別町議会 編集 本別町議会議員定数及び報酬に関する調査特別委員会